



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月12日

上場会社名 スタジオアリス

上場取引所 東

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 山口 正信

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	4,878	5.2	△930	—	△925	—	△655	—
21年12月期第1四半期	4,636	—	△1,379	—	△1,378	—	△897	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△38.16	—
21年12月期第1四半期	△52.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	18,733	10,866	56.9	620.25
21年12月期	19,149	11,941	61.3	683.09

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 10,655百万円 21年12月期 11,735百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,500	0.9	△1,600	△15.6	△1,620	△15.0	△1,280	△22.4	△74.50
通期	31,000	0.6	3,100	5.1	3,050	6.5	1,340	1.4	78.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 17,185,650株 | 21年12月期 | 17,185,650株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 6,111株 | 21年12月期 | 5,996株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 17,179,583株 | 21年12月期第1四半期 | 17,179,710株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は今後発生するさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、海外経済の復調や政府の緊急経済対策効果などによって一部で持ち直しの動きが見られるものの、デフレ状態が続き、雇用や所得に対する不安感は拭えず、個人消費は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループのこども写真事業は、お客様の圧倒的な支持を得るため、新設した「スタジオアリス・アカデミー」による、エリア責任者であるブロック長や上位職位レベルの店舗スタッフ等の技術指導・監督層を対象とした技術研修や、店舗で撮影した写真品質の点検並びにフォローを実施し、当社ブランドの中核に位置する「技術力」の強化に取り組みました。また、新商品開発におきましては、入園・入学のイメージである桜のデザインを入れた、入園・入学プレミアム台紙を導入いたしました。

営業面においては、当社店舗を初めてご利用される0歳～1歳のお子様を対象とした「アリスデビュー」を毎月1日～7日に実施し新規顧客の獲得に努めるとともに、お客様の連続来店化につながる「ベビーシャワーブック」を導入し、通年撮影項目であるお宮参りやお誕生日撮影等の件数獲得に努めました。その結果、フランチャイズ店舗を含む全店のお宮参りの撮影件数は前年同期比で10.1%の増加、同お誕生日撮影の件数は前年同期比で1.4%の増加となりました。また、七五三撮影の件数につきましても、営業の平準化を目的とした「Happy Birthday 七五三」が本年度も奏功し、前年同期比で21.8%の増加となりました。

そのほか、次世代の収益基盤となる新業態店舗開発への取り組みにつきましては、1月から既存店9店舗で成人振袖レンタル事業を、2月から既存店の八潮店でディズニー撮影強化型店舗を実験的に開始いたしました。

出店状況は、移転1店舗を含み10店舗を出店（内、小商圏型2店）し、次世代型への改装は18店舗実施いたしました。一方退店は、移転による1店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は、国内こども写真館391店舗（直営店舗378店・フランチャイズ店舗13店）、ペット写真館1店舗（移転改装中）、韓国の子会社におけるこども写真館6店舗、中国の子会社におけるこども写真館1店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館2店舗を含め、401店舗となっております。

婚礼衣装製造卸売事業につきましては、コスト競争力を高めるため、資材調達や管理方法の見直しをはじめとする原価低減活動の取り組みを開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,878百万円（前年同期比5.2%の増加）、営業損失は930百万円（対前年同期449百万円の損失減少）、経常損失は925百万円（対前年同期452百万円の損失減少）、四半期純損失は655百万円（対前年同期241百万円の損失減少）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ415百万円減少し18,733百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払い等などにより、前連結会計年度末と比べ627百万円減少の7,341百万円となりました。

固定資産は新規出店等による有形固定資産の増加、減価償却による有形固定資産の減少等などにより、前連結会計年度末と比べ212百万円増加の11,391百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ659百万円増加し7,866百万円となりました。

流動負債は短期借入金の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ761百万円増加の7,235百万円となりました。

固定負債はリース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ102百万円減少の630百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,075百万円減少し10,866百万円となりました。

これは主に、当第1四半期純利益（損失）及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ767百万円減少し、3,329百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりで

あります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,280百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純損失998百万円、法人税等の支払額843百万円、減価償却費470百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、593百万円となりました。その主な内訳は、写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出578百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,103百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金の増加額1,550百万円、減少要因として、配当金の支払額429百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成22年2月8日に公表いたしました第2四半期連結会計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,674,249	4,441,693
受取手形及び売掛金	1,022,893	1,056,168
商品及び製品	208,378	156,829
仕掛品	90,953	76,786
原材料及び貯蔵品	1,012,144	938,508
繰延税金資産	574,510	196,882
その他	807,679	1,152,910
貸倒引当金	△49,000	△50,000
流動資産合計	7,341,809	7,969,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,470,763	7,304,692
減価償却累計額	△3,592,811	△3,532,016
建物及び構築物(純額)	3,877,952	3,772,676
機械装置及び運搬具	768,775	765,905
減価償却累計額	△539,451	△516,794
機械装置及び運搬具(純額)	229,323	249,110
工具、器具及び備品	3,416,234	3,254,408
減価償却累計額	△2,483,846	△2,368,778
工具、器具及び備品(純額)	932,387	885,629
土地	650,076	650,076
リース資産	1,112,362	1,025,519
減価償却累計額	△398,015	△270,316
リース資産(純額)	714,347	755,202
建設仮勘定	3,244	—
有形固定資産合計	6,407,331	6,312,696
無形固定資産		
のれん	549,158	525,713
その他	464,026	478,449
無形固定資産合計	1,013,185	1,004,162
投資その他の資産		
投資有価証券	157,457	122,429
長期貸付金	219,888	219,888
繰延税金資産	802,593	792,529
敷金及び保証金	2,882,405	2,821,178
その他	8,435	6,366
貸倒引当金	△100,000	△100,000
投資その他の資産合計	3,970,780	3,862,391
固定資産合計	11,391,297	11,179,249
資産合計	18,733,107	19,149,029

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,420	473,057
短期借入金	3,613,600	2,063,600
未払法人税等	72,999	920,588
リース債務	761,869	719,531
賞与引当金	4,631	12,050
未払費用	911,649	1,080,001
その他	1,486,736	1,205,536
流動負債合計	7,235,906	6,474,366
固定負債		
退職給付引当金	313,819	301,703
リース債務	241,571	349,938
その他	75,489	81,575
固定負債合計	630,880	733,218
負債合計	7,866,787	7,207,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	6,770,314	7,855,316
自己株式	△9,111	△9,022
株主資本合計	10,702,602	11,787,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△112	△127
為替換算調整勘定	△46,792	△52,363
評価・換算差額等合計	△46,904	△52,491
少数株主持分	210,622	206,244
純資産合計	10,866,319	11,941,445
負債純資産合計	18,733,107	19,149,029

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	4,636,529	4,878,440
売上原価	4,339,816	4,396,561
売上総利益	296,712	481,879
販売費及び一般管理費	1,676,247	1,412,378
営業損失(△)	△1,379,535	△930,499
営業外収益		
受取利息	1,227	1,102
受取家賃	8,425	8,390
為替差益	13,196	9,332
受取手数料	4,431	5,038
雑収入	8,274	3,612
営業外収益合計	35,555	27,474
営業外費用		
支払利息	11,085	11,018
貸貸費用	2,739	5,080
店舗解約損	15,242	1,873
貸倒引当金繰入額	5,000	—
雑損失	36	4,149
営業外費用合計	34,103	22,122
経常損失(△)	△1,378,083	△925,147
特別損失		
固定資産廃棄損	48,365	54,051
減損損失	15,729	19,685
特別損失合計	64,095	73,736
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,442,178	△998,883
法人税、住民税及び事業税	39,656	40,671
法人税等調整額	△561,163	△387,704
法人税等合計	△521,506	△347,033
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△23,637	3,659
四半期純損失(△)	△897,034	△655,509

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,442,178	△998,883
減価償却費	340,840	470,464
のれん償却額	21,195	23,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,000	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,039	△7,544
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,158	12,115
受取利息	△1,227	△1,102
支払利息	11,085	11,018
為替差損益(△は益)	△10,235	△5,165
有形固定資産廃棄損	42,561	50,948
減損損失	15,729	19,685
売上債権の増減額(△は増加)	135,774	34,024
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95,722	△137,412
仕入債務の増減額(△は減少)	△90,995	△89,241
未払消費税等の増減額(△は減少)	△80,021	△117,283
その他の流動資産の増減額(△は増加)	243,185	296,955
その他の流動負債の増減額(△は減少)	33,435	14,459
その他	△59,273	△2,857
小計	△913,729	△427,275
利息の受取額	1,033	680
利息の支払額	△8,696	△11,018
法人税等の支払額	△691,767	△843,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,613,159	△1,280,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△456,828	△425,001
無形固定資産の取得による支出	△14,298	△70,260
子会社株式の取得による支出	—	△35,000
差入保証金の差入による支出	△53,635	△83,000
差入保証金の回収による収入	19,597	20,418
その他	2,632	△392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502,533	△593,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,666,668	1,550,000
セール・アンド・リースバックによる収入	239,694	160,035
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15,069	△177,101
自己株式の取得による支出	—	△88
配当金の支払額	△429,492	△429,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,461,799	1,103,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,563	3,211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△655,456	△767,444
現金及び現金同等物の期首残高	2,924,413	4,096,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,268,956	3,329,476

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,300,382	336,146	4,636,529	—	4,636,529
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	328,509	328,509	(△328,509)	—
計	4,300,382	664,655	4,965,038	(△328,509)	4,636,529
営業利益（又は営業損失）	(942,834)	(412,686)	(1,355,521)	(24,014)	(1,379,535)

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,480,487	397,952	4,878,440	—	4,878,440
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	116,332	116,332	(△116,332)	—
計	4,480,487	514,285	4,994,773	(△116,332)	4,878,440
営業利益（又は営業損失）	(776,562)	(192,438)	(969,001)	38,501	(930,499)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品又は役務の種類、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・役務の内容

こども写真事業 ……スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等

婚礼衣装製造卸売事業……婚礼用ドレス・撮影用衣装等の制作・販売

3. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1. (1)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業損失が、こども写真事業で705千円、婚礼衣装製造卸売事業で92,635千円それぞれ増加しております。

4. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

(リース取引に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1. (2)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響額は軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。